

No.	405	チャレンジ・ザ・ゲーム				
概要	特別な体力や技能を必要としない、やっておもしろく、見て楽しい、しかも健康づくりに役立つ記録に挑戦するゲーム。					
内容	人数(人)	2~60人	時間			2~3時間
	対象	小1以上	時期			通年
	場所	体育館・多目的ホール				
	指導形態	自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導				
安全管理	事前の打ち合わせ、健康観察と引率者、職員による観察					
ねらい	○心身の健康・体力の保持・増進を図る。 ○互いに声を掛け合い協力しながらゲームを楽しむとともに、仲間との交流を深める。					
準備	施設から貸出	キャッチング・ザ・スティック、リングキャッチ、ロープジャンプ用ロープ、ネット・パス・ラリー用ネット、デジタルイマー、サークルジャンプ、ドッジボール、電子ホイッスル				
	団体で準備	運動ができる服装、体育館で行う場合上履き				
	確認事項	○参加者の実態に合わせて、活動内容(ゲーム)を2~4つ程度決める。 ○ゲームの種類数に合わせて、グループ分けする。 ○引率者は担当職員と監視体制、安全管理等について事前に確認を行う。				

	内容	留意事項
活動前	○引率者とゲーム内容の確認。	○配慮すべき参加者の確認。 ○健康観察 ○体育館で行う場合は気温と湿度の測定により必要な措置をとる。
活動の説明	○用具の準備に合わせ、片づけについても説明をする。 ○活動内容、ルールについて説明する。 ・活動が4つあれば4グループに分かれてローテーションしながら行う。 ・1つのゲームについて(練習3分・本番①5分、練習3分、本番②5分)といった時間配分で実施する。 ○各ゲームを実際にやってみせながら説明する。	○ルール説明は、引率の方にも手伝ってもらいながら、実演をする。 ○ゲームの結果については、他チームとの比較よりも、自分たちの結果の伸びに注目していくことを伝える。
展開	①用具の準備、準備運動 ②説明(実演)を見て、ゲームの仕方を知る。 ③チャレンジ・ザ・ゲームをする。(2~4種目を実施) 「ロープ・ジャンプ」 ・回しているロープに複数人が入り、全員そろって何回跳べるか挑戦する。 「グループ・バンブー・ダンス」 ・竹を打ち付けるリズムに合わせて、バンブーダンスを行う。グループで失敗せずに何回飛べるかを競う。 「キャッチング・ザ・スティック」 ・10人が横一列に並び、位置を変えながらスティックを倒さずに何回キャッチできるかを競う。 「リング・キャッチ」 ・10人で輪を投げ合い、全員で何回キャッチ(受け渡し)できるかを競う。競技は3回までできる。 「ネット・バスラリー」 ・ネットにボールを載せてもち、ペア2組で向かい合い、ネットの上のボールを交換する。時間内の成功回数を競う。 「スピード・ラダーゲッター」 ・ボールを投げて、すべてのラダーにどれだけ早くかけられるかを楽しむ。 その他の種目もあります。 ④まとめ ・感想発表等	○適宜、ウォーミングアップをしてから行う。 ○ホワイトボードに結果一覧表をつくり、結果を書き込む。 ○職員による観察を適宜行い、健康状態の把握に努める。  